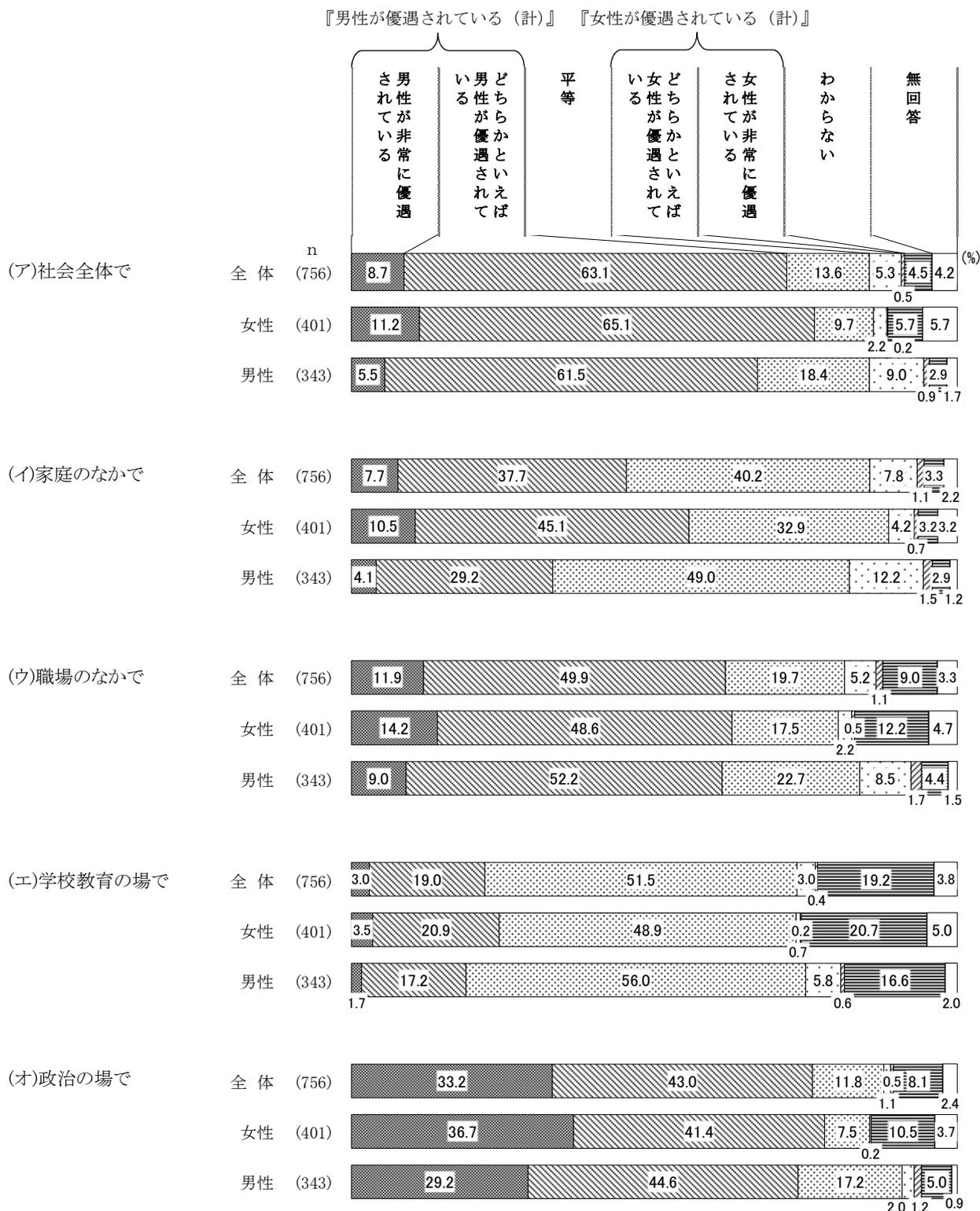


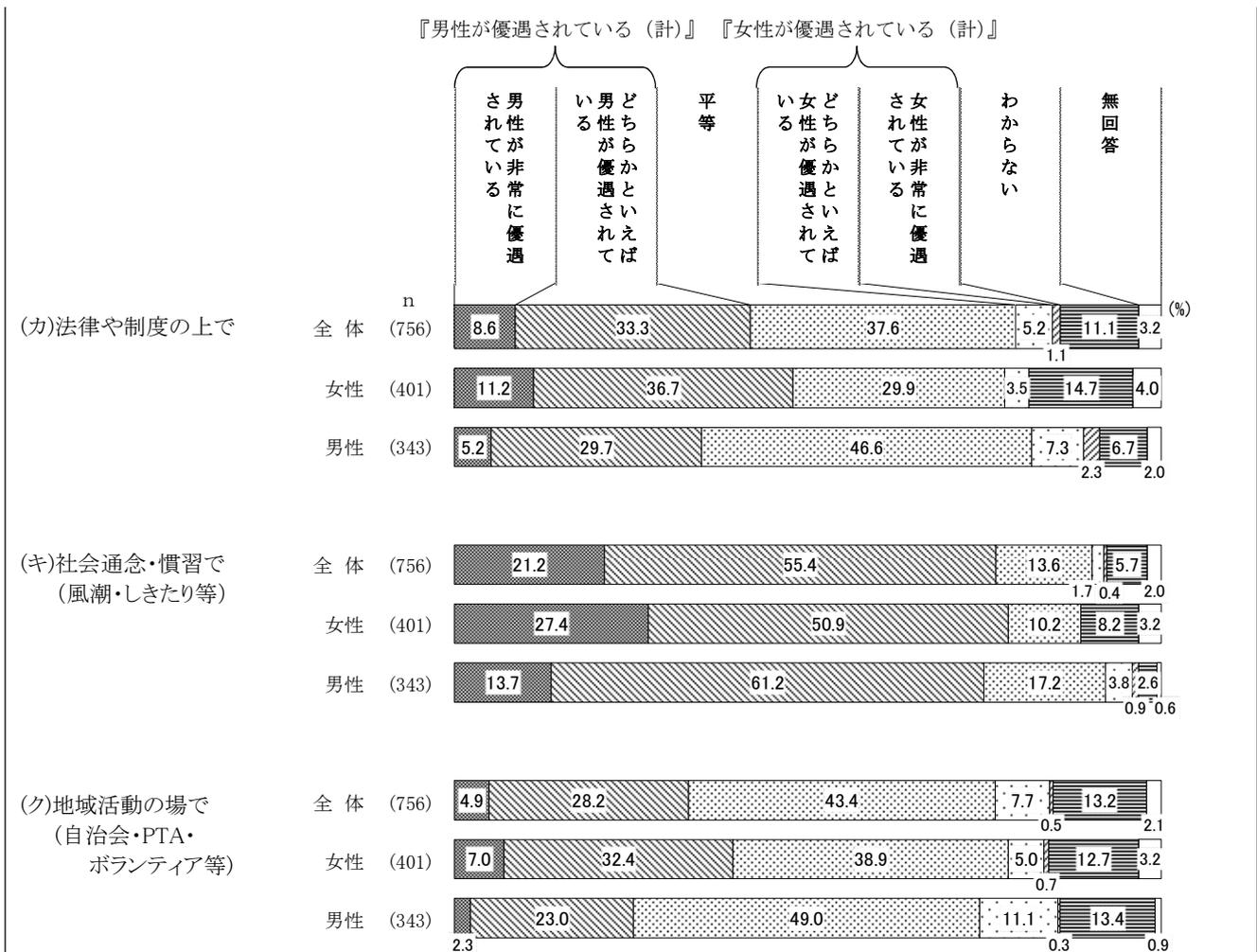
(1) 男女平等意識

## 2 男女共同参画全般について

### (1) 男女平等意識

問1 あなたは、次の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。次の(ア)～(ク)のそれぞれについてあなたの考えに最も近い番号ひとつに○をつけてください。





男女平等意識について、“(ア) 社会全体”は、『男性が優遇されている (計)』が71.8%、「平等」が13.6%、『女性が優遇されている (計)』が5.8%となっている。

性別で見ると、『男性が優遇されている (計)』は女性が男性よりも9.3ポイント高くなっている。一方、「平等」や『女性が優遇されている (計)』は男性が女性よりも高く、「平等」で男性が8.7ポイント、『女性が優遇されている (計)』で男性が7.5ポイント高くなっている。

各分野の男女平等意識をみると、『男性が優遇されている (計)』は、“(キ) 社会通念・慣習で(風潮・しきたり等)”が76.6%と最も高く、次いで“(オ) 政治の場で”が76.2%、“(ア) 社会全体”が71.8%となっている。「平等」は、“(エ) 学校教育の場で”が51.5%で最も高く、次いで“(ク) 地域活動の場で(自治会・PTA・ボランティア等)”で43.4%、“(イ) 家庭のなかで”で40.2%となっている。『女性が優遇されている (計)』は、どの分野でも10.0%未満となっている。

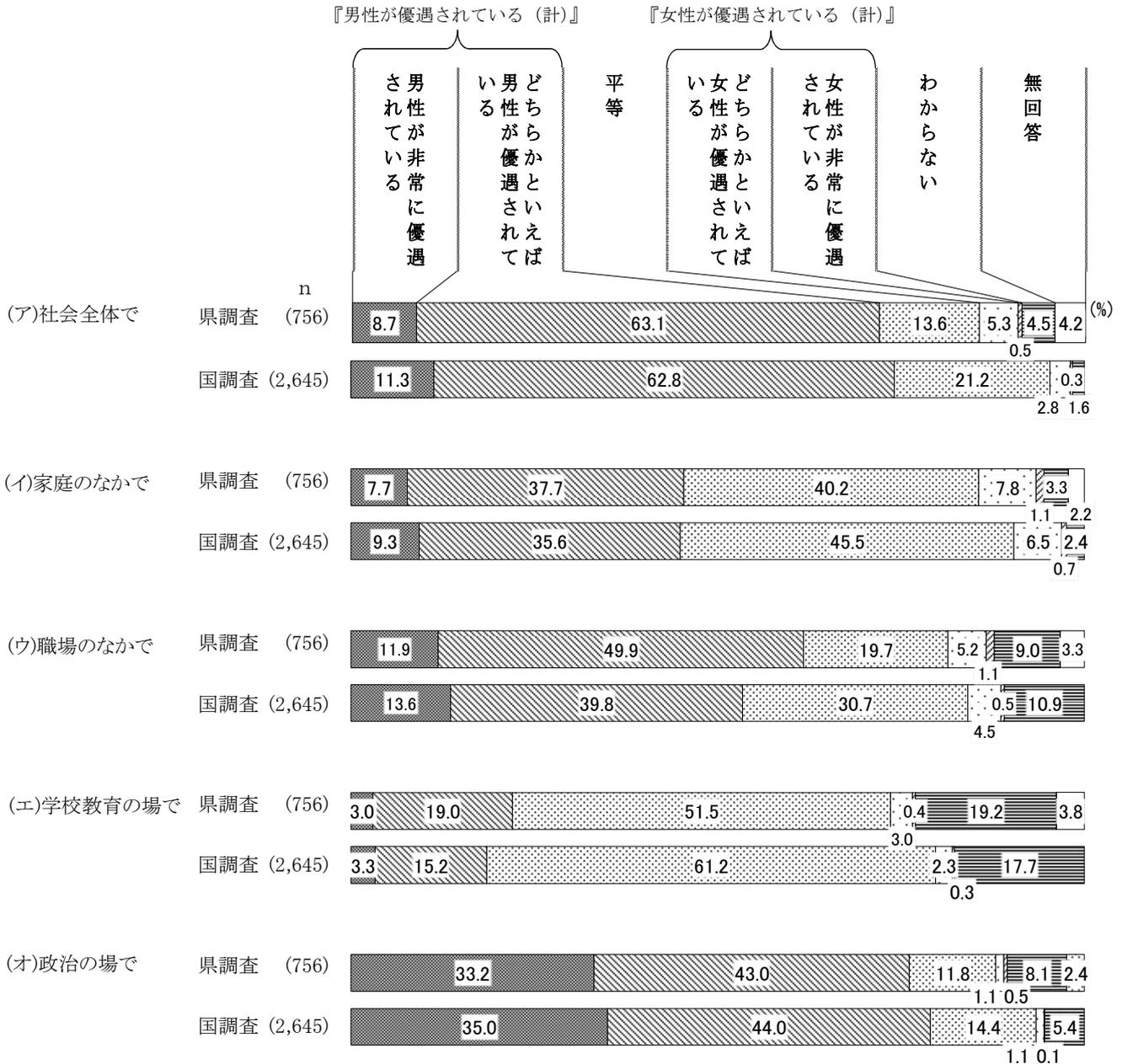
性別で見ると、『男性が優遇されている (計)』は全ての項目で女性が男性を上回っている。特に、“(イ) 家庭のなかで”は女性が男性よりも22.3ポイント高くなっている。“(ク) 地域活動の場で(自治会・PTA・ボランティア等)”も女性が14.1ポイント、“(カ) 法律や制度の上で”も女性が13.0ポイント高くなっている。一方、「平等」や『女性が優遇されている (計)』は全ての項目で男性が女性を上回っている。「平等」の“(カ) 法律や制度の上で”は男性が女性よりも16.7ポイント高く、“(イ) 家庭のなかで”も男性が16.1ポイント、“(ク) 地域活動の場で(自治会・PTA・ボランティア等)”も男性が10.1ポイント高くなっている。『女性が優遇されている (計)』の“(イ) 家庭のなかで”は男性が女性よりも8.8ポイント高くなっている。

調査の結果／2 男女共同参画全般について

(1) 男女平等意識

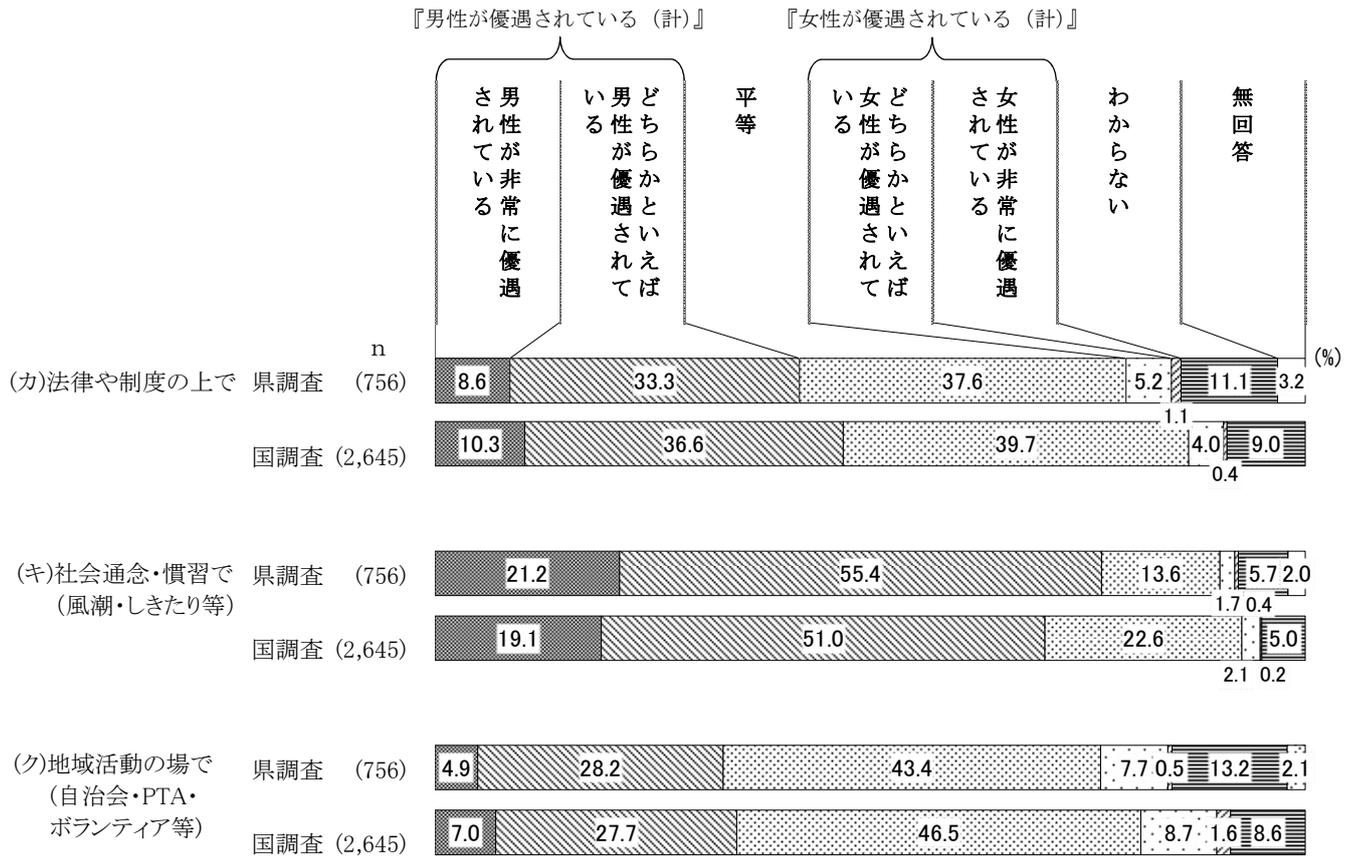
【全国調査（令和元年）との比較】

全国調査と比較すると、“（ア）社会全体で”、“（イ）家庭のなかで”、“（オ）政治の場で”、“（ク）地域活動の場で（自治会・PTA・ボランティア等）”、で大きな差異はみられないが、“（ウ）職場のなかで”では『男性が優遇されている（計）』で千葉県が国よりも8.4ポイント、“（キ）社会通念・慣習で（風潮・しきたり等）”も『男性が優遇されている（計）』で千葉県が国よりも6.5ポイント、“（エ）学校教育の場で”も『男性が優遇されている（計）』で千葉県が国よりも3.5ポイント高くなっている。一方、“（カ）法律や制度の上で”では『男性が優遇されている（計）』で国が千葉県よりも5.0ポイント高くなっている。



※国調査：男女共同参画社会に関する世論調査（令和元年度）

調査の結果／2 男女共同参画全般について  
 (1) 男女平等意識



※国調査：男女共同参画社会に関する世論調査（令和元年度）

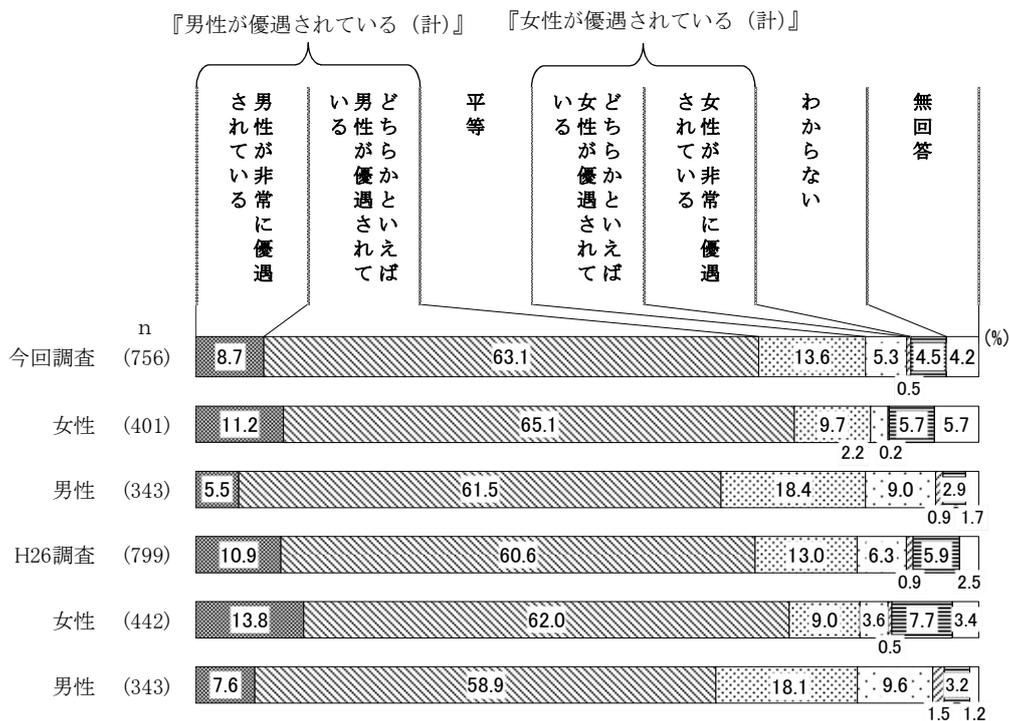
調査の結果／2 男女共同参画全般について

(1) 男女平等意識

(ア) 社会全体で

【前回調査（平成 26 年）との比較】

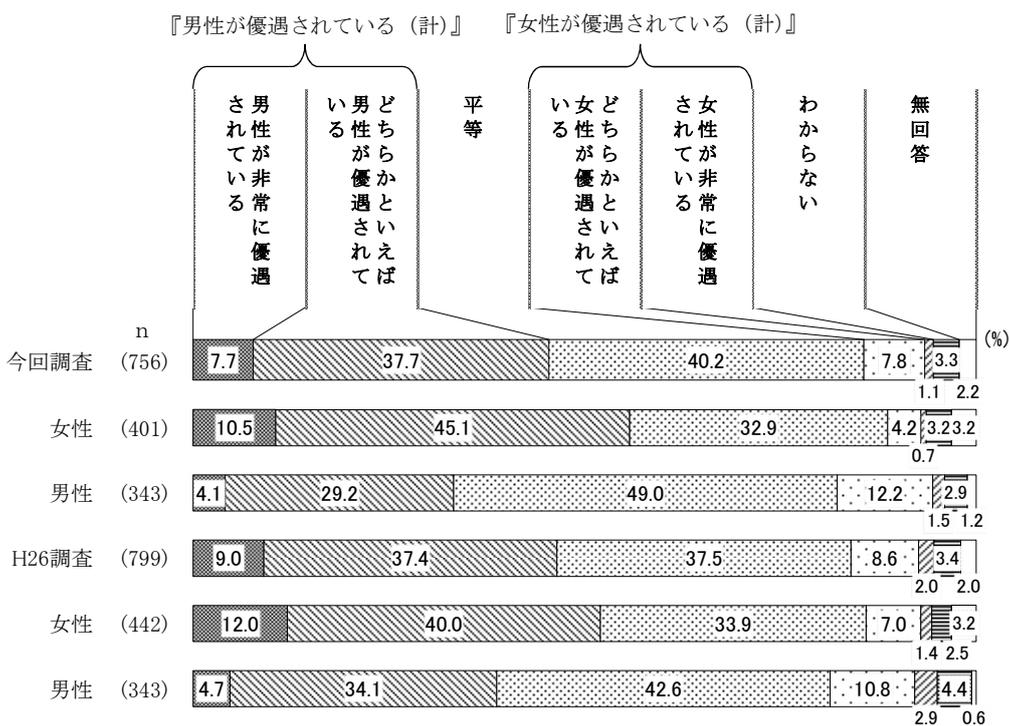
前回調査と比較すると、大きな差異はみられない。



(イ) 家庭のなかで

【前回調査（平成 26 年）との比較】

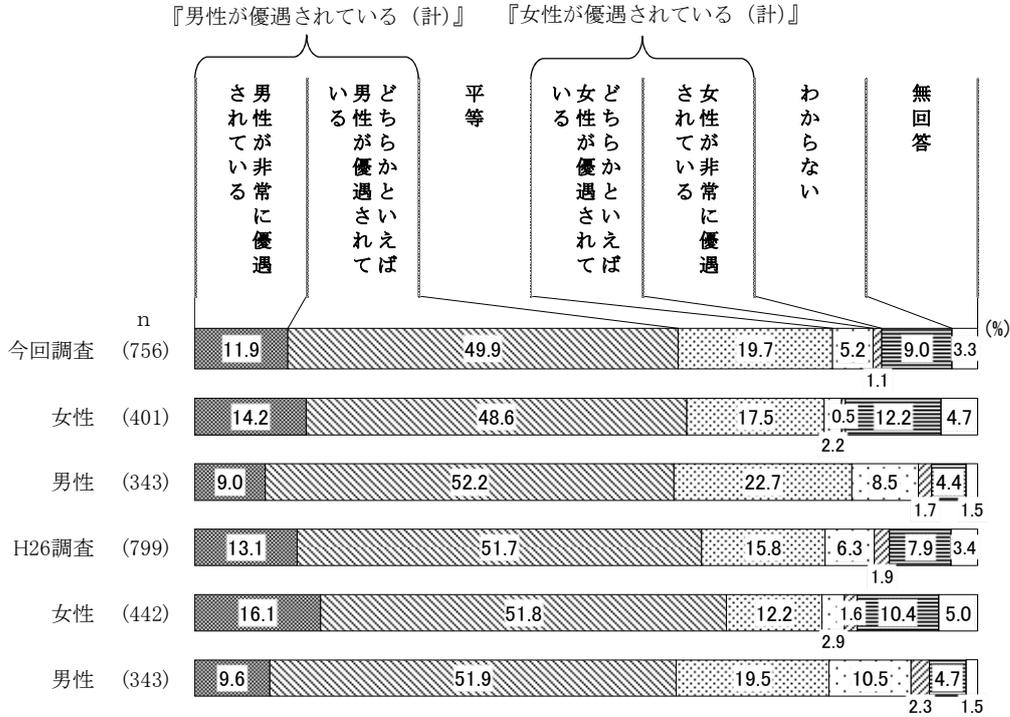
前回調査と比較すると、全体で大きな差異はみられないが、『男性が優遇されている (計)』は男性で今回調査が前回調査よりも 5.5 ポイント低くなっている。一方、「平等」は男性で前回調査が今回調査よりも 6.4 ポイント高くなっている。



(ウ) 職場のなかで

【前回調査（平成 26 年）との比較】

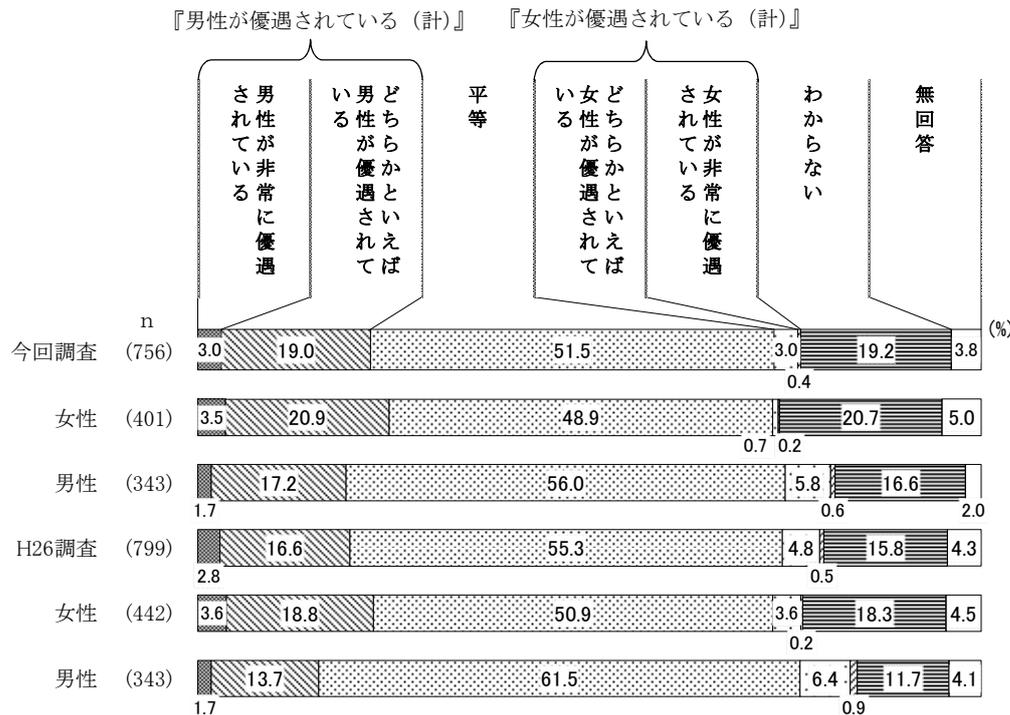
前回調査と比較すると、全体で「平等」は今回調査が前回調査よりも 3.9 ポイント高くなっており、女性も今回調査が 5.3 ポイント、男性も今回調査が 3.2 ポイント高くなっている。一方、『男性が優遇されている（計）』は女性で今回調査が前回調査よりも 5.1 ポイント低くなっている。



(エ) 学校教育の場で

【前回調査（平成 26 年）との比較】

前回調査と比較すると、「平等」は全体で今回調査が前回調査よりも 3.8 ポイント低くなっており、男性も今回調査が 5.5 ポイント低くなっている。一方、『男性が優遇されている（計）』は男性で今回調査が前回調査よりも高くなっている。



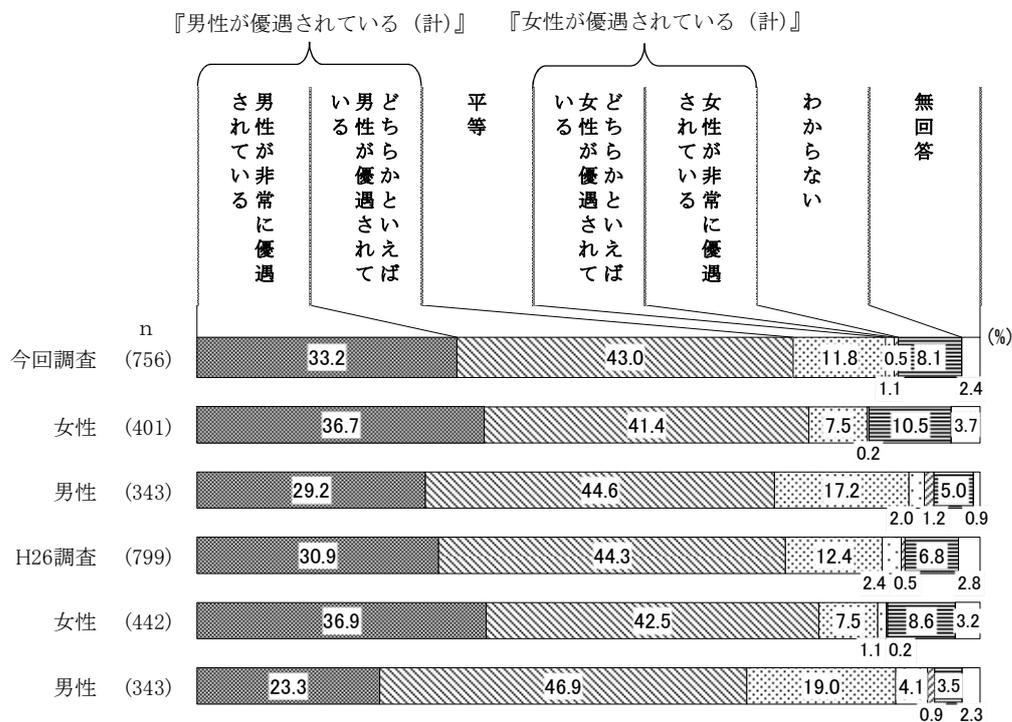
調査の結果／2 男女共同参画全般について

(1) 男女平等意識

(オ) 政治の場で

【前回調査（平成 26 年）との比較】

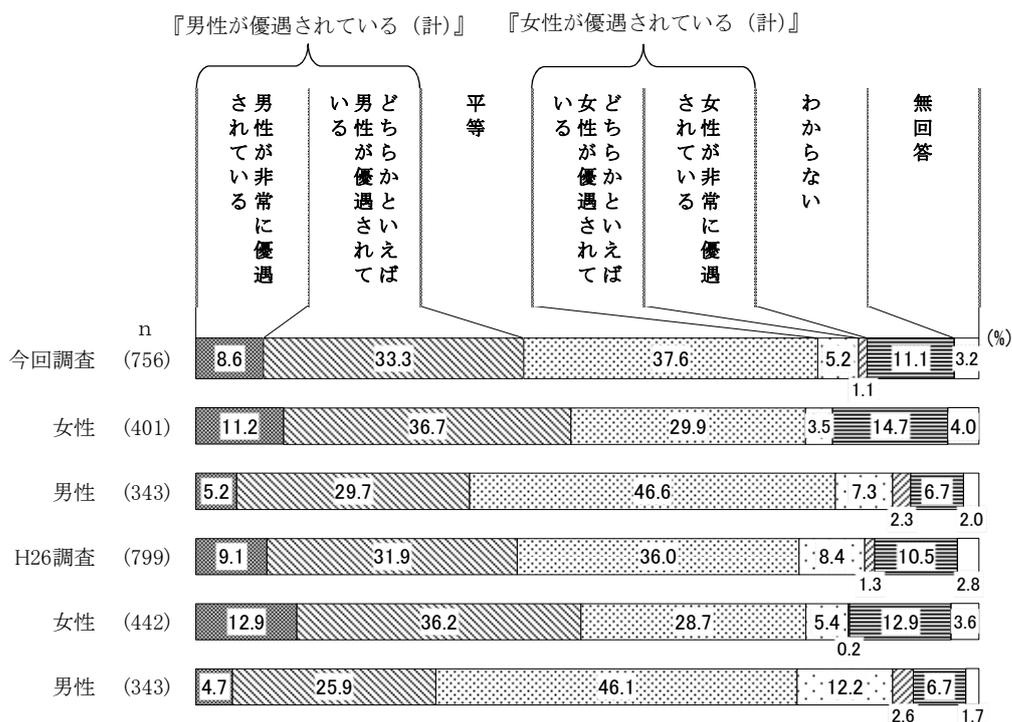
前回調査と比較すると、全体で大きな差異はみられないが、『男性が優遇されている（計）』は男性で今回調査が前回調査よりも 3.6 ポイント高くなっている。



(カ) 法律や制度の上で

【前回調査（平成 26 年）との比較】

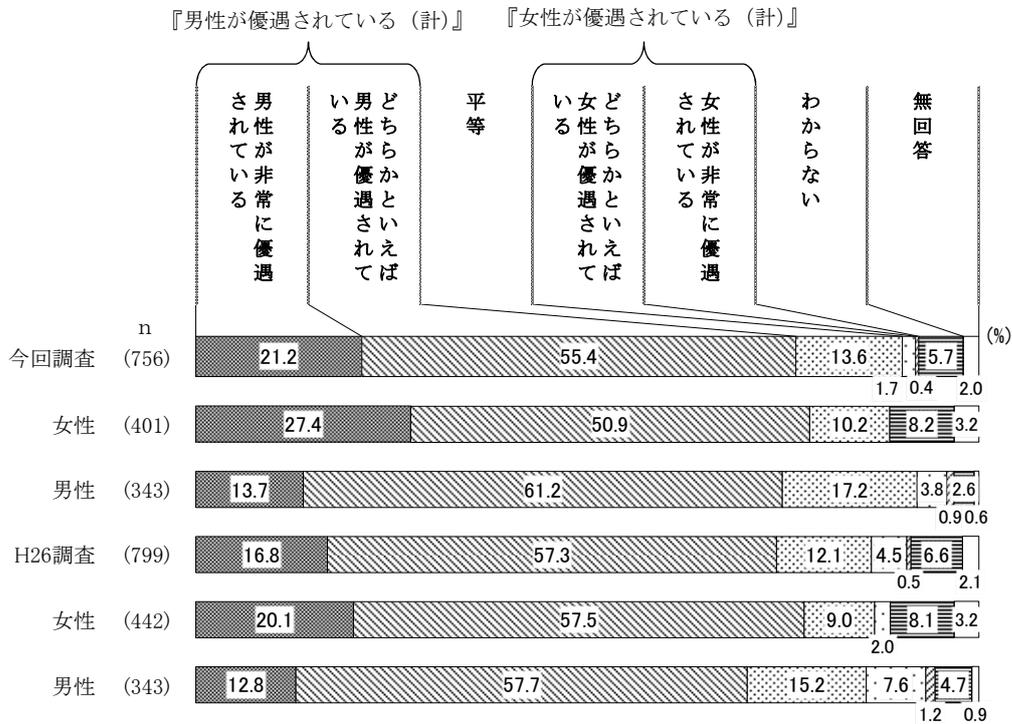
前回調査と比較すると、『女性が優遇されている（計）』は全体で今回調査が前回調査よりも 3.4 ポイント低くなっており、男性も今回調査が 5.2 ポイント低くなっている。一方、『男性が優遇されている（計）』は女性で今回調査が前回調査よりも低くなっている。



(キ) 社会通念・習慣で(風潮・しきたり等)

【前回調査(平成26年)との比較】

前回調査と比較すると、全体で大きな差異はみられないが、『男性が優遇されている(計)』は男性で今回調査が前回調査よりも4.4ポイント高くなっている。



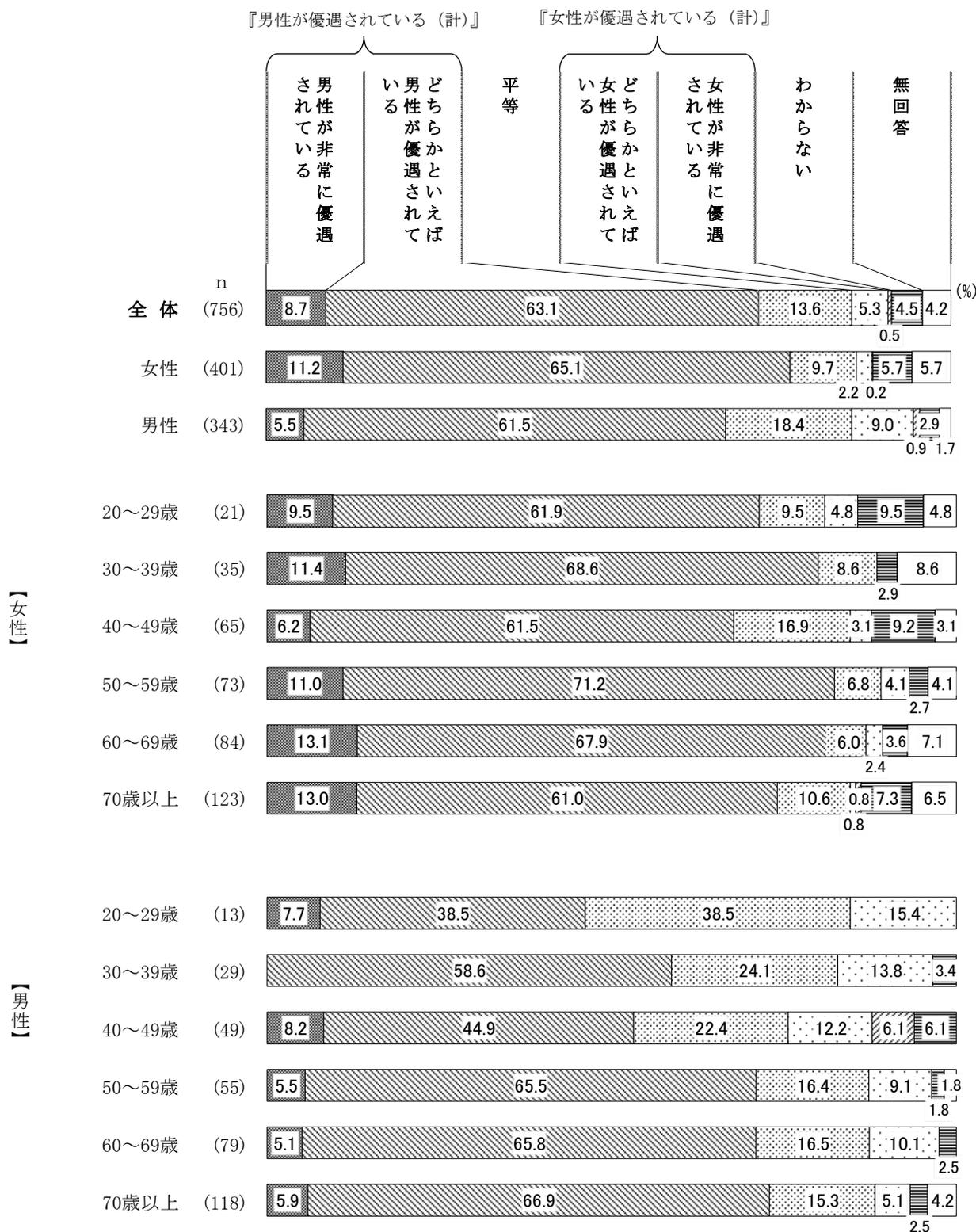
調査の結果／2 男女共同参画全般について

(1) 男女平等意識

(ア) 社会全体で

【性・年齢別】

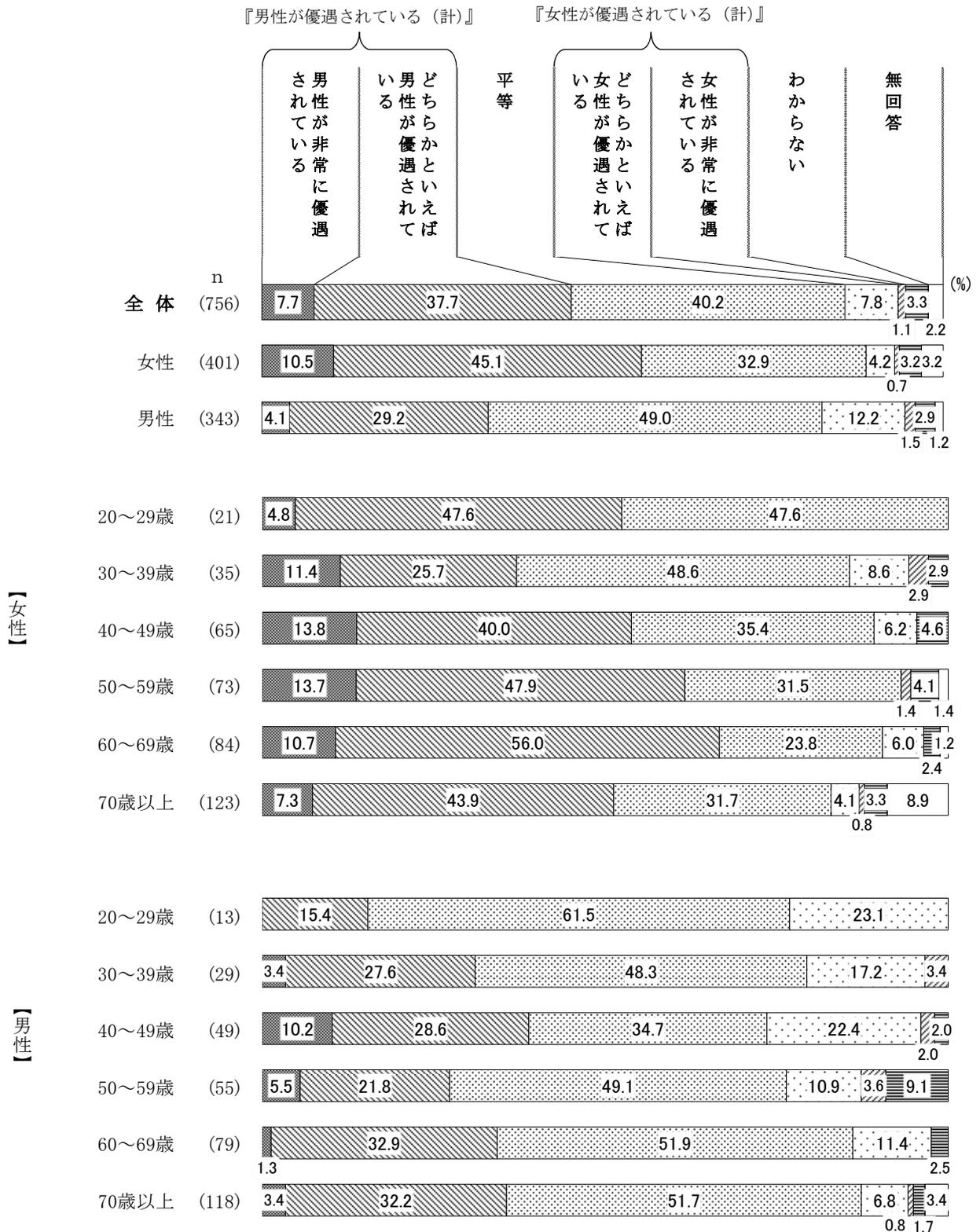
性・年齢別でみると、『男性が優遇されている (計)』は、女性 50～59 歳、女性 60～69 歳で 8 割を超え、女性 30～39 歳で 8 割と高くなっている。「平等」は、男性 20～29 歳で約 4 割、男性 30～39 歳で 2 割半ばと高くなっている。『女性が優遇されている (計)』は、男性 40～49 歳で約 2 割、男性 20～29 歳、30～39 歳で 1 割半ばとなっている。



(イ) 家庭のなかで

【性・年齢別】

性・年齢別でみると、『男性が優遇されている(計)』は、女性60～69歳で6割半ば、女性50～59歳で6割を超え、女性40～49歳で5割半ばと高くなっている。「平等」は、男性20～29歳で6割を超え、男性60～69歳、70歳以上で5割を超えて高くなっている。『女性が優遇されている(計)』は、男性20～29歳、40～49歳で2割半ば、男性30～39歳で2割となっている。



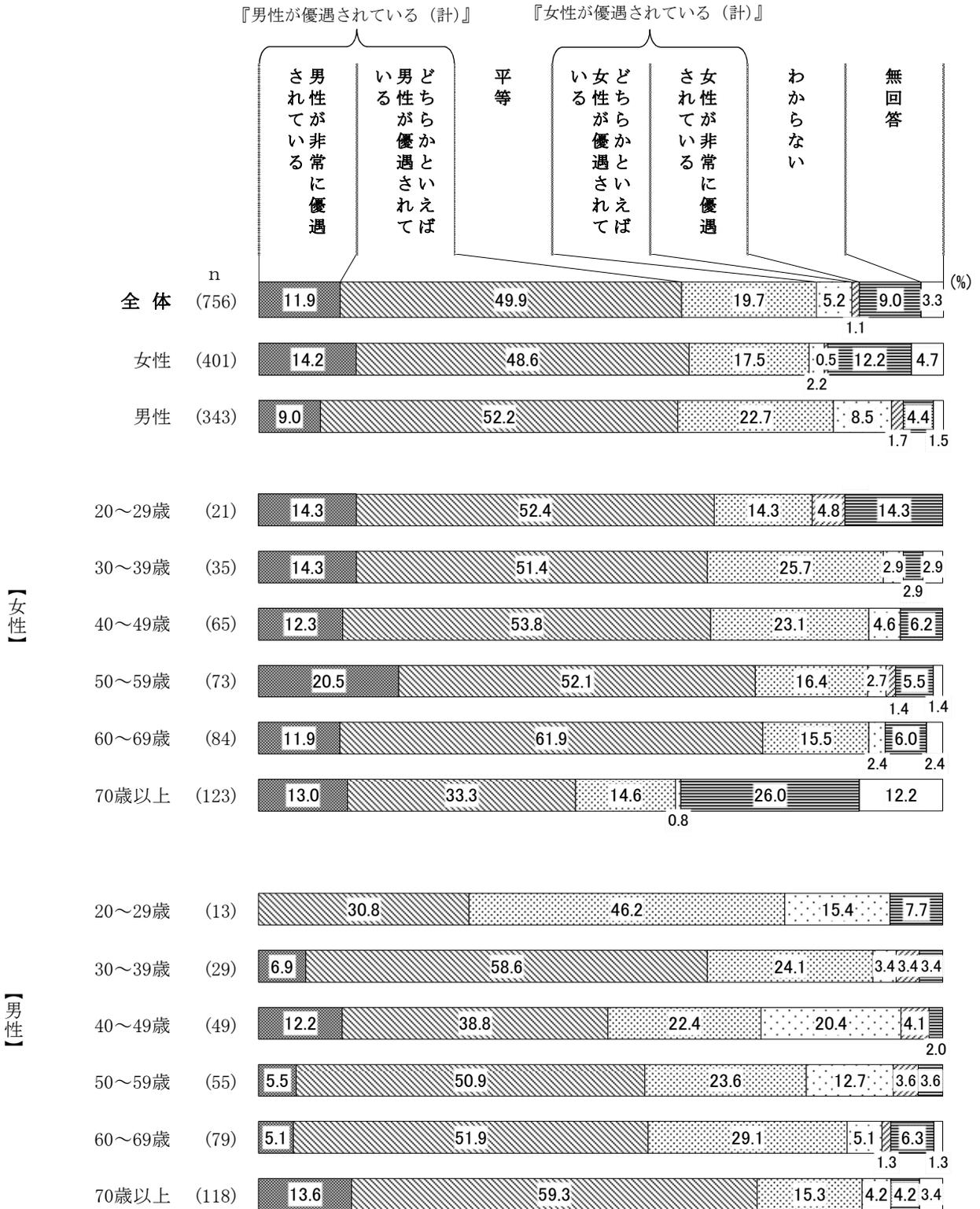
調査の結果／2 男女共同参画全般について

(1) 男女平等意識

(ウ) 職場のなかで

【性・年齢別】

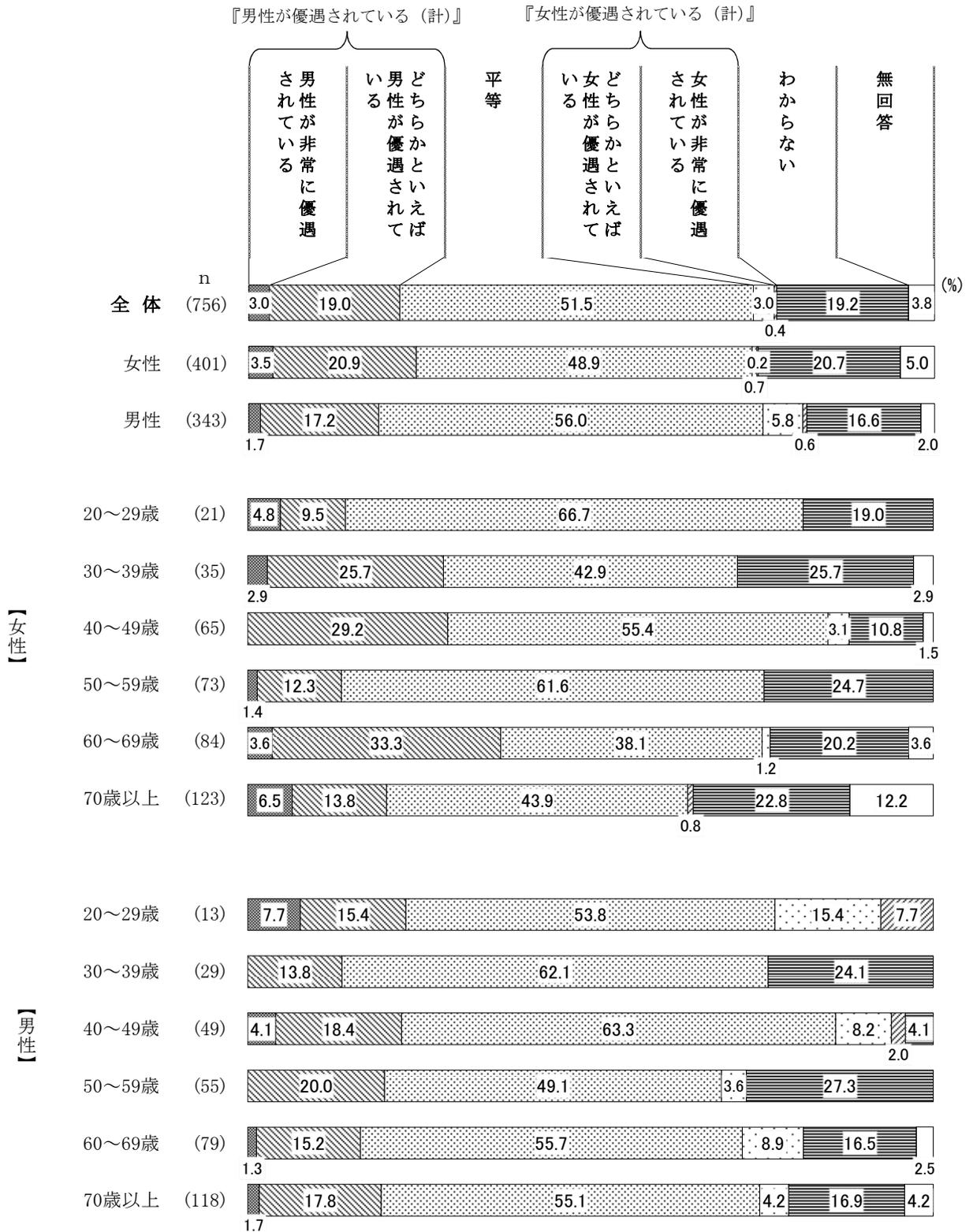
性・年齢別でみると、『男性が優遇されている（計）』は、女性60～69歳で7割半ば、女性50～59歳、男性70歳以上で7割を超えて高くなっている。「平等」は、男性20～29歳で4割半ば、男性60～69歳で約3割と高くなっている。『女性が優遇されている（計）』は、男性40～49歳で2割半ばとなっている。



(エ) 学校教育の場で

【性・年齢別】

性・年齢別でみると、『男性が優遇されている (計)』は、女性 60～69 歳で 3 割半ば、女性 30～39 歳、40～49 歳で約 3 割となっている。「平等」は、女性 20～29 歳、男性 40～49 歳で 6 割半ば、女性 50～59 歳、男性 30～39 歳で 6 割を超えて高くなっている。



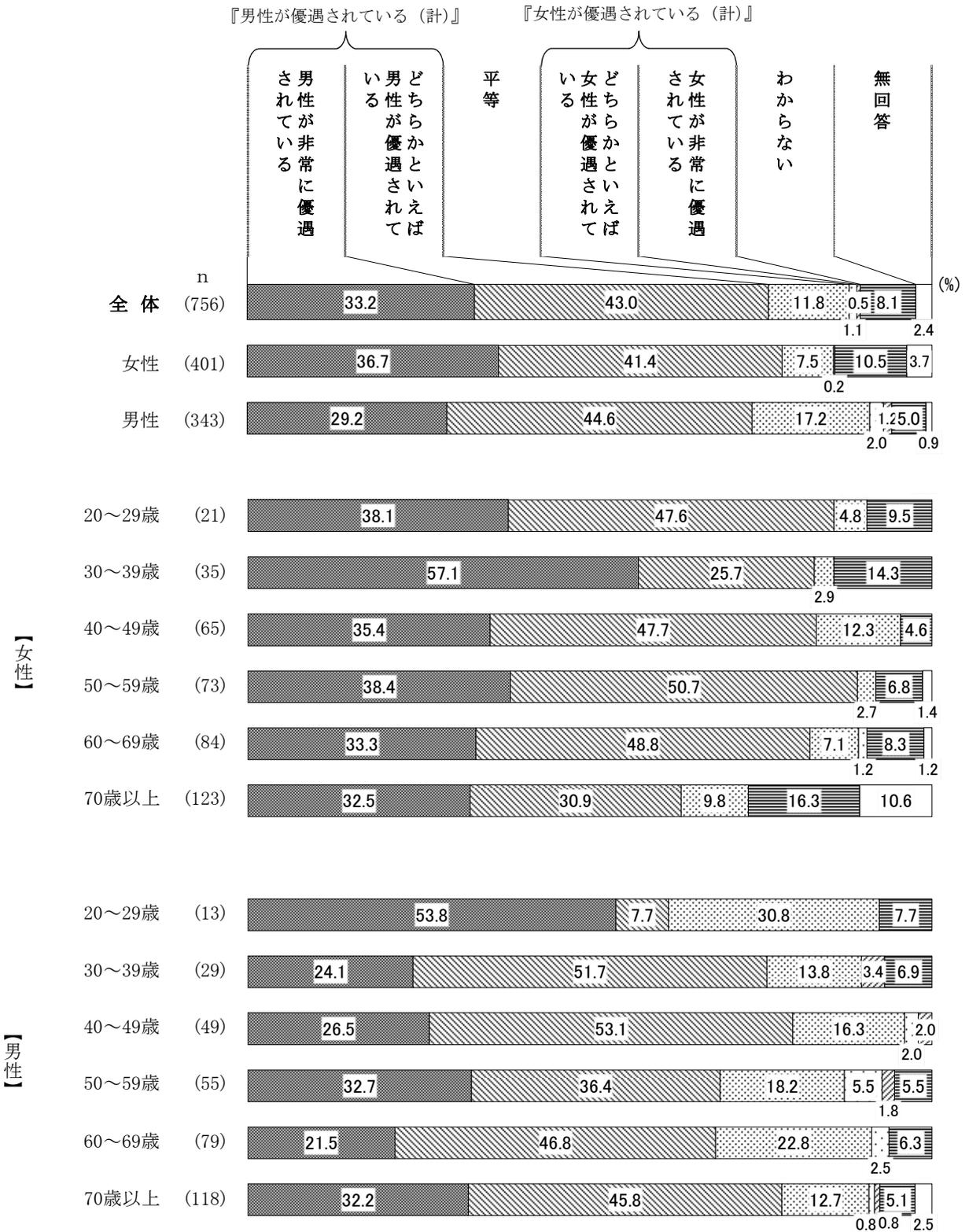
調査の結果／2 男女共同参画全般について

(1) 男女平等意識

(オ) 政治の場で

【性・年齢別】

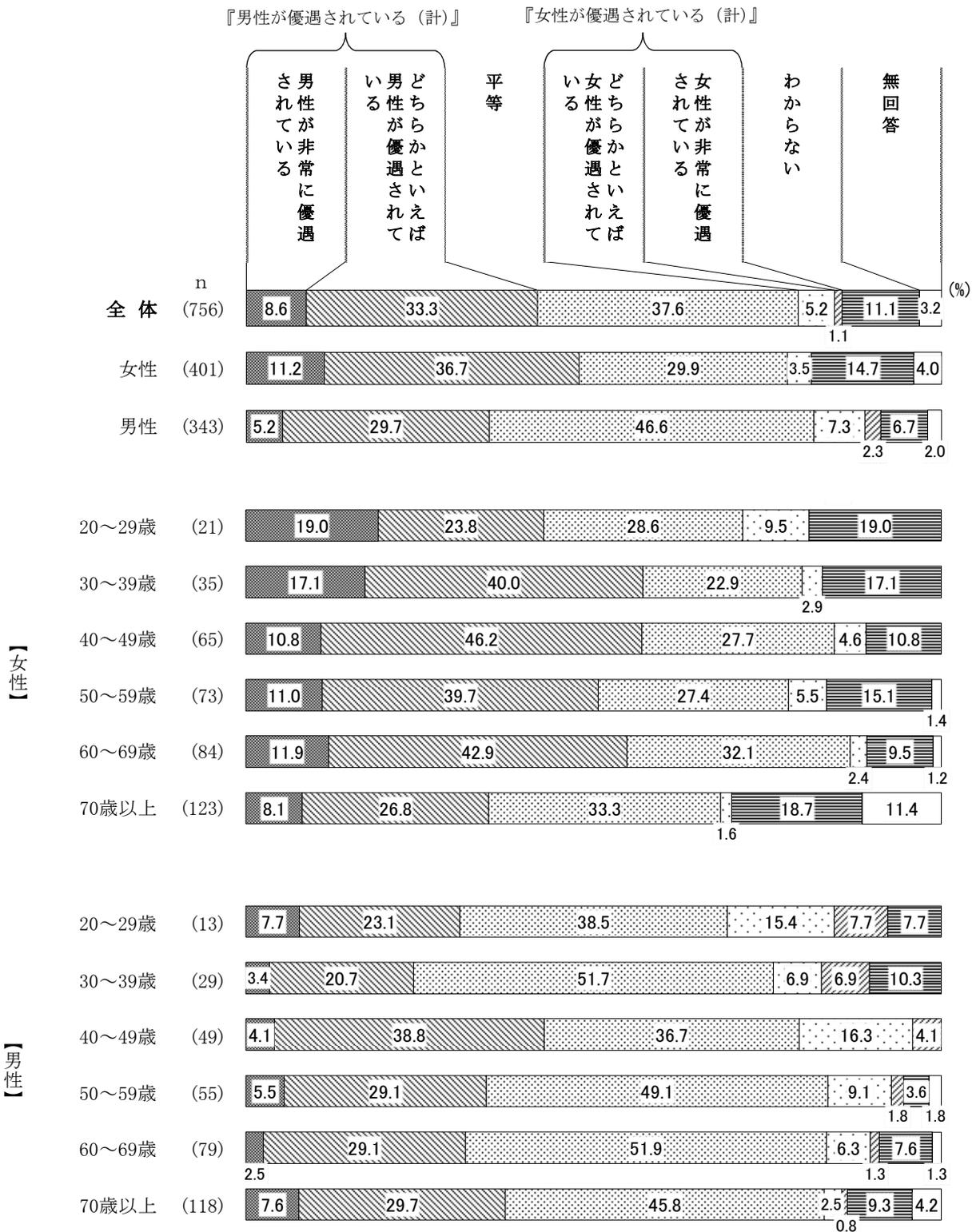
性・年齢別でみると、『男性が優遇されている (計)』は、女性 20～29 歳から 60～69 歳で 8 割以上と高くなっており、特に 50～59 歳で約 9 割と高くなっている。「平等」は男性 20～29 歳で 3 割、男性 60～69 歳で 2 割を超えている。



(カ) 法律や制度の上で

【性・年齢別】

性・年齢別でみると、『男性が優遇されている (計)』は、女性 30～39 歳、40～49 歳で約 6 割、女性 60～69 歳で 5 割半ば、女性 50～59 歳で 5 割と高くなっている。「平等」は、男性 30～39 歳、60～69 歳で 5 割を超え、男性 50～59 歳で約 5 割と高くなっている。『女性が優遇されている (計)』は、男性 20～29 歳で 2 割半ば、男性 40～49 歳で 2 割となっている。



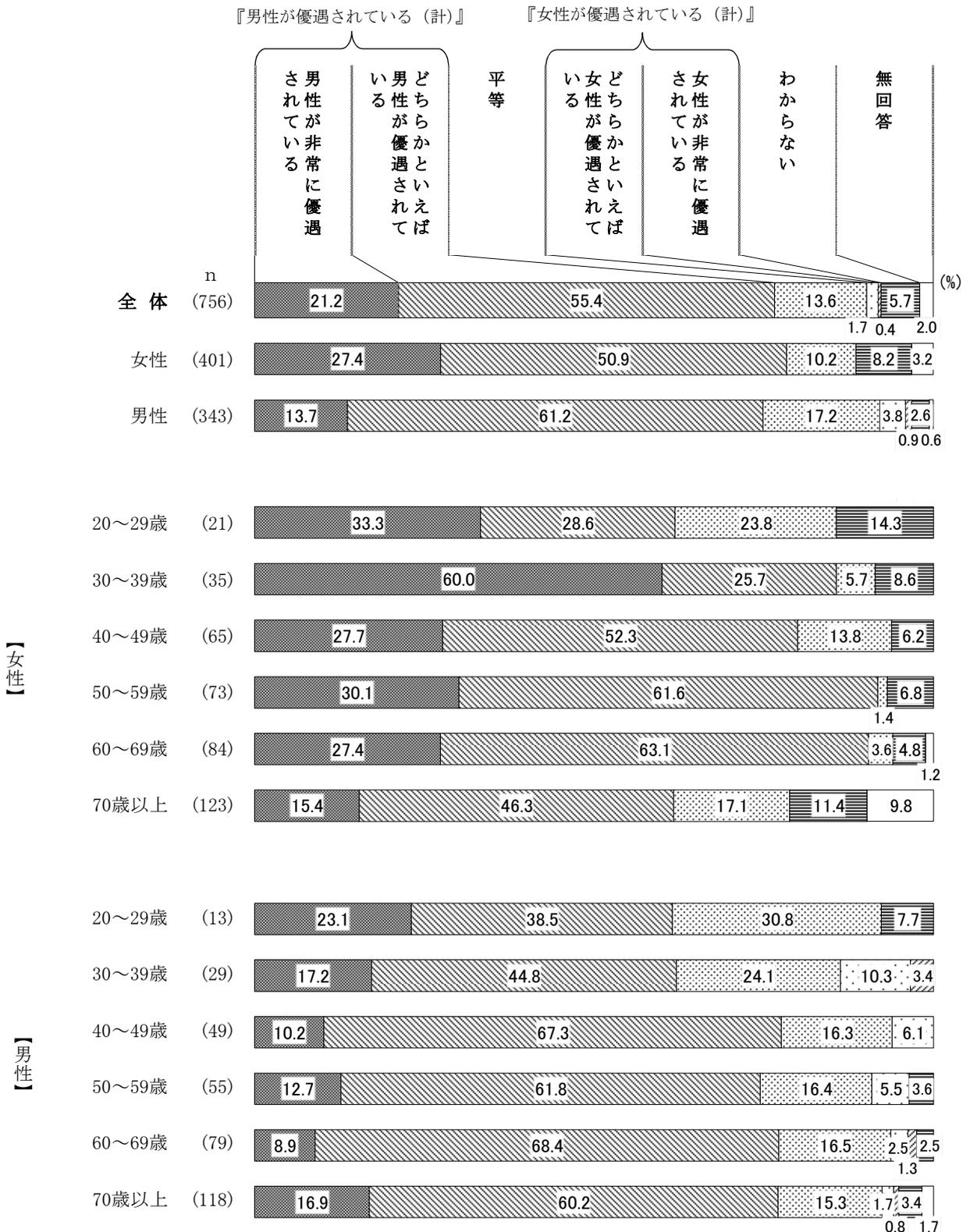
調査の結果／2 男女共同参画全般について

(1) 男女平等意識

(キ) 社会通念・習慣で(風潮・しきたり等)

【性・年齢別】

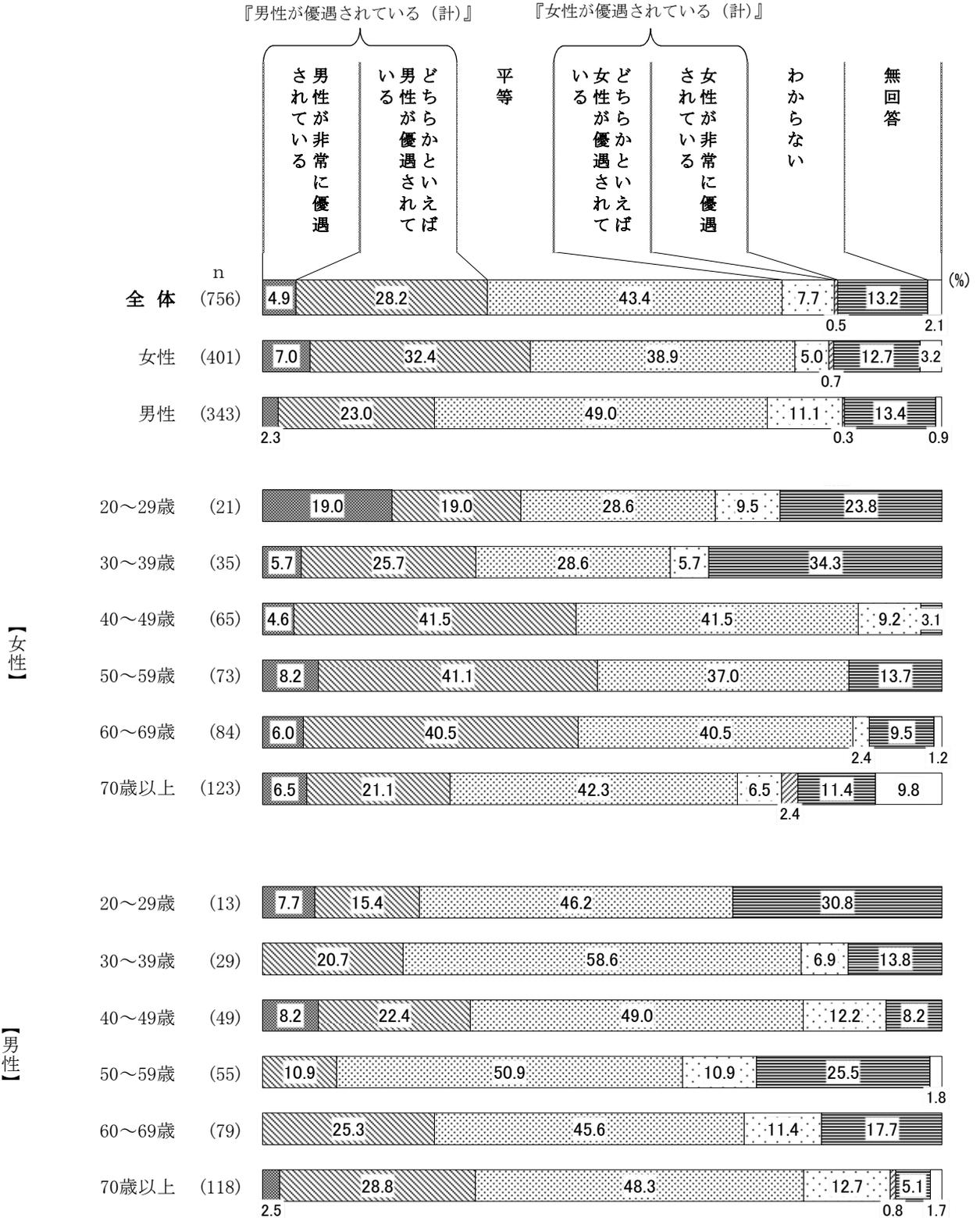
性・年齢別でみると、『男性が優遇されている(計)』は、女性50～59歳で9割を超え、60～69歳で9割、30～39歳で8割半ばと高くなっている。「平等」は、男性20～29歳で3割、女性20～29歳、男性30～39歳で2割半ばとなっている。



(ク) 地域活動の場で(自治会・PTA・ボランティア等)

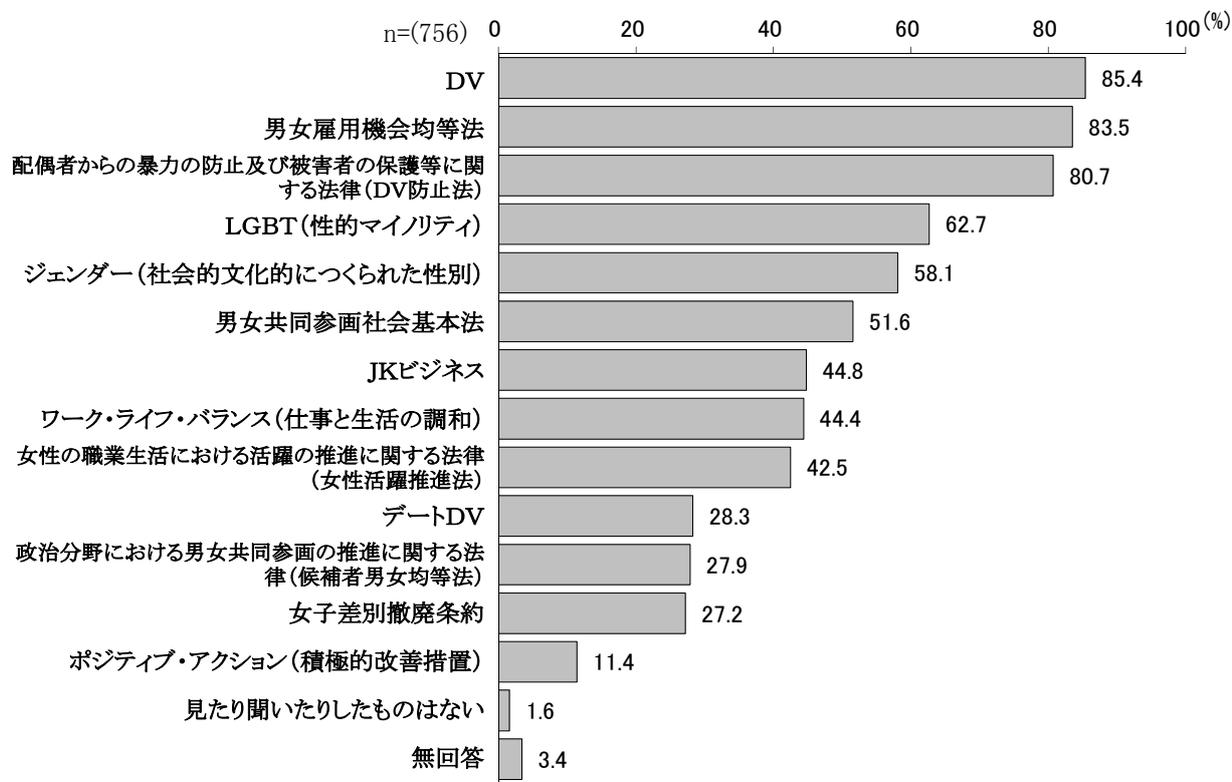
【性・年齢別】

性・年齢別でみると、『男性が優遇されている(計)』は、女性50～59歳で約5割、女性40～49歳、60～69歳で4割半ばと高くなっている。「平等」は、男性30～39歳で約6割、男性50～59歳で5割、男性40～49歳、70歳以上で約5割と高くなっている。『女性が優遇されている(計)』は、男性70歳以上で1割半ばとなっている。



(2) 言葉の認知度

問2 次の言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがある番号すべてに○をつけてください。



言葉の認知度は、「DV」が85.4%で最も高く、次いで「男女雇用機会均等法」が83.5%、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律 (DV防止法)」が80.7%となっている。

【前回調査（平成 26 年）との比較】

前回調査と比較すると、「ジェンダー（社会的文化的につくられた性別）」は今回調査が前回調査よりも 25.3 ポイント高くなっている。また、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」も今回調査が 8.7 ポイント、「男女共同参画社会基本法」も今回調査が 4.0 ポイント高くなっている。一方、「ポジティブ・アクション（積極的改善措置）」は今回調査が前回調査よりも 4.6 ポイント、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）」も今回調査が 3.7 ポイント、「男女雇用機会均等法」も今回調査が 3.4 ポイント低くなっている。

